

# いごころ

vol.  
11

発行

公立大学法人福島県立医科大学  
広報コミュニケーション室  
http://www.fmu.ac.jp/  
〒960-1295  
福島県福島市光が丘1番地  
TEL.024-547-1111(代表)



本誌「いごころ」の印刷は、環境保全に配慮し「FSC®認証紙」とベジタブルオイルインキを使用しています。

福島県立医科大学広報誌「いごころ」を福島県の高校生の皆さんにお届けします

## 災害医療

ひとりでも多くの被災者を救うために  
— Disaster Medical Assistance Team —

今年、西日本の「平成30年7月豪雨」によるがけ崩れや洪水による被害、台風21号による関西を中心とした高潮や風による被害など、自然災害が猛威を振るいました。テレビや

新聞にはあまり出ませんが、そのような大規模災害現場では消防や警察、自衛隊などと連携しながら医療活動を行う「DMAT」というチームが全国から駆け付け、被災者の医療支

援に当たっています。本学にもDMAT隊員が49名おり(2018年9月現在)、さまざまな災害現場で活動を行なっています。DMATとは何か、どんな活動をしているのかを紹介します。

### 専門に訓練された医療チーム 大規模災害から事故まで

「DMAT」は「Disaster Medical Assistance Team」の頭文字を取ったもので、日本語では「災害派遣医療チーム」と呼ばれます。専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員(薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、医療機関職員など)で構成された災害医療対応チームです。

各都道府県の災害拠点病院、福島県であれば本学附属病院のほか、いわき市立総

合磐城共立病院、会津中央病院など数病院にDMATが組織されています。そして、隊員は普段は勤務する医療機関でそれぞれの業務に従事し、要請に応じて招集され、チームで活動を行います。DMATは都道府県からの派遣要請を受けてから48時間以内に被災地で活動ができるよう災害現場に急行します。



災害拠点病院

被災地では、地元の自治体や医療機関、他のDMAT、消防、警察、自衛隊などと連携しながら、被災地域の医療ニーズを把握し、

ニーズに応じた医療体制の確立を図ります。そのうえで、どの負傷者を優先して治療するか、どの病院に搬送すべきかなどを判断するトリアージや、緊急治療、被災地の病院支援を行うほか、必要であれば傷病者を被災地外の適切な医療機関へ搬送することもあります。



トリアージ

なお、DMATの隊員は危険を伴う災害現場で安全を確保するため、専用のユニフォームやヘルメット、保護靴などを着用しているので、消防のレスキュー隊と同じように見えます。そこで、例えばがれきの下に入って被災者を救出するといったイメージを持たれることがありますが、DMATは安全が確保された場所で負傷者の治療にあたることを原則としており、救出活動に携わることは滅多にありません。

### 「防ぎうる災害死」を一人でも減らすために

DMATが誕生したきっかけは、6000人以上の多くの犠牲者を出した1995年1月の阪神・淡路大震災でした。当時のわが国の災害に対する対応力は今よりも低く、警察や消防、自衛隊などの活動も初動が遅れたり、阪神・淡路大震災うまく機能しませんでした。同様に初期医療の提供も遅れました。被災者に対する災害急性期(発生から72時間)に、専門的な訓練を受けた医療チームが緊急治療や病院支援などを行うことができれば救えたはずと考えられる「防ぎうる災害死」が500名はいたという報告もあるほどです。そして、この教訓がDMATの発足につながりました。現在でも



阪神・淡路大震災



- DMATとは災害派遣医療チームのこと**  
医師、看護師、メディカルスタッフ、医療機関職員ら数名で構成。被災地の医療機能を支える。
- 安全が確保された場所で医療を行なう**  
被災者の救助を行うレスキュー隊ではない。
- 求められる柔軟な発想、思考**  
災害はいつも「想定外」。情報を集め、分析、判断、実行する力が求められる。

島田 二郎 (しまだ じろう)  
1987年 福島県立医科大学卒業 57歳  
福島県立医科大学  
医学部 救急医療学講座 教授  
附属病院 災害医療部 部長  
ふたば救急総合医療支援センター  
副センター長

指揮系統がなかったことなどが原因でした。

こうした経験から、DMATの活動内容が少しずつ見直されてきました。指示系統の明確化、インターネットなどを用いた通信体制、従来、72時間を目安としていたDMATの活動時間をフレキシブル

に対応できる体制にすること、都道府県を越えた患者の搬送などです。

本学災害医療部部長で附属病院高度救命救急センターの島田二郎教授は「本学附属病院のDMATの体制も見直し、拡充した」と話します。東日本大震災のときの本学のDMAT隊員は13人。しかし「全く不足していた」とのこと。「県庁に各地から集まるDMATの調整本部を設置し、そこに本学のDMAT隊員を配置したほか、本学にはDMATの活動拠点本

「防ぎうる災害死」を一人でも減らすことが、DMATの活動の重要な柱となっています。

## 熊本地震では 現地の中核として活動

そのDMATの活動が大きくクローズアップされたのは、2011年3月の東日本大震災でした。全国から約340チーム、1500人が岩手県、宮城県、福島県、茨城県に派遣され、3月11～22日までの11日間にわたって活動しました。このときにいくつかの課題が浮上しました。例えば、孤立した病院から入院患者を他の地域に搬送する際、数百人の患者を、安全にどの病院にどうやって誰が運ぶのかという調整に時間がかかりました。DMAT事務局と行政との連絡手段が電話が主で通じにくかったこと、現地では都道府県を越えた

## 試される 「人間力」と「応用力」



## 「こうしたい」という希望に近づけた時の 患者さんの喜びに元気をもらっています

### Q どんな仕事ですか？

作業療法士は、病気やけがで入院した人が、自宅に戻って日常生活を送れるようにするリハビリテーションの専門職です。理学療法士が立つ、歩く、座るといった基本動作のリハビリを行うのに対し、作業療法士は、生活に関わる全ての活動(作業)のリハビリを行います。例えば、脳卒中で体の一部が麻痺した方の運動機能を回復させるのが理学療法士、その方が日常生活をスムーズに送れるようにするのが作業療法士といえるのでしょうか。そのため、料理に関するリハビリでは、献立に必要な食材を

書き出し、靴を履き、買い物に出かけ、食材をカゴに入れ、財布からお金を取り出して支払う、といった具合に行動を細分化し、ひとつひとつできるように支援します。そしてその過程で何ができないかを観察し、そのリハビリを行うのです。必要であれば、その人に合った装具を作ることもします。また、意外かもしれませんが、手術に立ち会って、予想される後遺症について手術中に医師から情報をもらうこともあります。リハビリは作業療法士や理学療法士だけでなく、医師や看護師など多職種のスタッフがそれぞれの強みを活かして取り組むものなんです。

### Q 作業療法士になろうと 思ったきっかけは？

子どものころからミシンが大好きで、一旦は服飾関係の仕事に就いたのですが、母が病院などで働いていたことから医療系の仕事にも興味があり、3年間働いた後、改めて専門学校に進みました。私は元々手先が器用で、学校では「ミシンができないと作業療法士にはなれない」といわれ、私にぴったりだと思いました。実際の現場では患者さんが作業しやすいよう衣服や装具などを少し縫い直すこともよくあるんです。

作業療法士  
**芥川 奈央** (あくたがわ なお)  
2015年より福島県立医科大学附属病院  
リハビリテーションセンターに勤務  
趣味：旅行、音楽鑑賞  
尊敬する人：両親  
好きな言葉：一期一会  
好きなタレント：大泉 洋

### Q 仕事のやりがいは？

患者さんの「こうしたい」という希望に少しでも近づけた時ですね。「台所に立って料理ができるようになりたい」という患者さんには、コンロの前に立って体のバランスを取りながら、フライパンを返すといった実践的な訓練を何度も繰り返します。そして、それができるようになった時のご本人の笑顔を見るのは何にも代えがたい喜びです。

作業療法士を  
目指すなら…

### 2021年4月に誕生する 「保健科学部(仮)」へ



保健科学部(仮)棟完成予想図(2020年10月完成予定)

芥川さんのような作業療法士に加え、理学療法士、診療放射線技師、臨床検査技師を養成するための学部が、福島県立医科大学に開設します。JR福島駅前から徒歩5分(福島市栄町)の大変便利な場所に新キャンパスを建設予定です。詳しくはこちら…



保健科学部(仮)

### ・看護学部の特徴あるカリキュラム

皆さん、大学で看護学を学ぶ意味は何だと思えますか？また全国的に「医学部看護学科」が多い中で本学は一つの独立した「看護学部」として位置づけられています。これは高度で専門化された看護学を理論的かつ研究的に学ぶことを意味します。本学の理念に「ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。最新かつ高度な医学および看護学を研究・創造する」があります。その専門性を学び成長を促すため、本学では心理学や人間関係論、さらには医療と法、美術など教養教育も充実しています。例えば看護学部で美術を学ぶことは違和感があるかもしれませんが、人と接する時に必要な感性を養うという狙い

知ってた？  
医大って  
こんなところ

があります。更に看護の基礎と応用共に幅広く学ぶことで、理論と実践とを身につけた人材を育成しています。

そして卒業時には看護師に加えて、必要な科目を選択履修することで保健師と助産師の国家試験受験資格を取得することも大きな魅力です。卒業生は医療・保健福祉・行政・研究等の幅広い分野で能力を発揮しています。

看護学部の  
HPはこちら



### ・第57回全国自治体病院学会 県民公開講座

郡山市において、第57回全国自治体病院学会が開催されます。変化する社会環境の中で地域医療を支え続けるために、自治体病院のあるべき姿について考える学会です。

この学会の最終日、10月19日(金)に郡山市民文化センターにおいて、県民公開講座が開催されます。笑いと健康の関係について研究し、数多くの笑いヨガ開催実績を持つ、福島県立医大の大平哲也教授による講演と、NHKの「所さん大変ですよ」やフジテレビ系列「ホンマでっか!?TV」などに出演されている澤口俊之 人間性脳科学研究所所長による講演の2つです。平日のため、高校生の皆さんの参加は難しいですが、ぜひご家族など身の回りの皆さんにご案内ください。

- 郡山市民文化センター 大ホール
- 10月19日(金)14:40~15:40  
「笑いと医療~こころとからだを癒す笑いの効果~」  
大平哲也(福島県立医大疫学講座教授)
- 15:40~16:40  
「一生幸せに生きる脳を育むには」  
澤口俊之(人間性脳科学研究所所長)
- 入場無料、申込不要

